

平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 17 日

上場会社名 神姫バス株式会社 (コード番号： 9083 大証第 2 部)
 (URL <http://www.shinkibus.co.jp/>)
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 上杉 雅彦
 問合せ先責任者 役職名 取締役企画部長 氏名 長尾 真 TEL：(0792) 23 - 1243

1 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 引当金、法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容) 連結(新規) 1 社(除外) 0 社 持分法(新規) 0 社(除外) 0 社

2 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	28,424	(2.7)	1,445	(△15.5)	1,466	(△13.9)	921	(△11.9)
17 年 3 月期第 3 四半期	27,690	(6.7)	1,711	(0.4)	1,702	(0.1)	1,045	-
(参考)17 年 3 月期	36,489		1,943		1,962		1,600	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 3 四半期	32.61		-	
17 年 3 月期第 3 四半期	36.95		-	
(参考)17 年 3 月期	54.24		-	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善により設備投資が増加を続けるほか、個人消費が回復基調にあるなど、景気全体は踊り場を脱却しつつあります。しかしながら、運輸業界におきましては、原油価格の高止まり状況が企業へ深刻な影響を及ぼすなど、厳しい状況で推移いたしました。このような状況のなかで、当社グループは「企業ビジョン」を柱とした経営戦略を積極的に推進し、顧客志向の徹底と経営基盤の安定に努めました。この結果、当第 3 四半期連結会計期間の売上高は 28,424 百万円となり、前年同期比 733 百万円 (2.7%) の増収となりました。しかしながら、平成 18 年 4 月からスタートする神戸市バスからの 2 営業所の「管理の受託」に向けた先行費用の発生、レンタル部門の新規出店に伴う初期投資費用に原油価格の高騰も加わり、営業利益は前年同期比 265 百万円 (△15.5%) 減の 1,445 百万円、経常利益は前年同期比 235 百万円 (△13.9%) 減の 1,466 百万円、当第 3 四半期純利益は前年同期比 123 百万円 (△11.9%) 減の 921 百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(自動車運送事業)

乗合バス部門は神戸市等から一部地域の路線を譲り受けたことにより、また貸切バス部門は愛知万博等のイベント効果により増収となり、売上高は前年同期比 601 百万円 (4.6%) 増の 13,620 百万円となりました。しかしながら、神戸市バスからの「管理の受託」に向けた先行費用の発生や原油価格の高騰による燃料費の増等により、営業利益は前年同期比 137 百万円 (△36.7%) 減の 237 百万円となりました。

(車両物販・整備業)

車両物販部門は、部品販売では増収となりましたが、自動車販売は販売台数の減少等により減収となりました。整備部門はリコール対象車両の整備の減少や車検台数の減少等により減収となり、結果、売上高は前年同期比 36 百万円 (△0.8%) 減の 4,675 百万円となりました。また、営業利益は販管費等の増加も加わったため、前年同期比 70 百万円 (△34.5%) 減の 133 百万円となりました。

(業務受託・介護事業)

業務受託部門は平成 17 年 4 月より兵庫県神崎郡のレクリエーション施設「グリーンエコー笠形」の運営受託を開始したことにより、介護事業部門は施設介護の稼働率が上昇したことにより、ともに増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比 137 百万円 (11.8%) 増の 1,303 百万円、営業利益は前年同期比 33 百万円 (36.6%) 増の 125 百万円となりました。

(不動産業)

販売部門は分譲区画数の減少により、賃貸部門は一部賃貸契約の解約等により、ともに減収となり、売上高は前年同期比 259 百万円 (△14.7%) 減の 1,508 百万円となりました。営業利益は販売部門の土地分譲の粗利益率の向上により、前年同期比 15 百万円 (△1.8%) の減益にとどまり、849 百万円となりました。

(レジャーサービス業)

遊技場部門は「たつの店」が大型店進出による競争激化により減収となりましたが、飲食部門、レンタル部門の新規出店により、売上高は前年同期比 342 百万円(4.3%)増の 8,378 百万円となりました。しかしながら、レンタル部門の新規出店に伴う初期投資費用が大きく影響し、営業利益は前年同期比 68 百万円 (△63.0%) 減の 40 百万円となりました。

(その他事業)

売上高は前年同期比 28 百万円 (3.3%) 増の 891 百万円となりましたが、販管費の増加等により営業利益は前年同期比 3 百万円 (△6.1%) 減の 55 百万円となりました。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	38,060	23,113	60.7	818.43
17年3月期第3四半期	35,632	21,492	60.3	760.53
(参考)17年3月期	37,019	22,185	59.9	782.91

[財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 1,041 百万円 (2.8%) 増の 38,060 百万円となりました。増減の主なものは、現金及び預金の増加 833 百万円、たな卸資産の増加 128 百万円、補助金未収の減少 533 百万円、投資有価証券の増加 264 百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末比 105 百万円 (0.7%) 増の 14,834 百万円となりました。増減の主なものは、借入金の増加 555 百万円、未払法人税等の減少 651 百万円等であります。また、株主資本は四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末比 928 百万円 (4.2%) 増の 23,113 百万円となりました。これにより株主資本比率は 0.8 ポイント上昇し、60.7%となりました。

3 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
通 期	37,100 <small>百万円</small>	1,550 <small>百万円</small>	1,400 <small>百万円</small>	49.57 <small>円 銭</small>

(注) 1株当たり予想当期純利益の計算は、平成17年12月末の発行済株式数（自己株式を除く）によっております。

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期における業績は、概ね計画通りに推移しておりますので、平成18年3月期の業績予想につきましては、平成17年11月17日公表の業績予想と変更ありません。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上

四半期連結財務諸表等

1. 四半期連結貸借対照表

(単位百万円)

科 目	期 別	前第3四半期 連結会計期間末 (平成16年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (平成17年12月31日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成17年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
I 流 動 資 産				
現金及び預金		5,358	6,292	5,458
受取手形及び売掛金		1,533	1,555	1,695
未収運賃		430	475	371
有価証券		—	60	30
たな卸資産		350	439	310
経営土地建物		1,051	1,894	1,799
その他		1,512	1,016	1,225
貸倒引当金		△ 19	△ 16	△ 17
流動資産合計		10,217	11,716	10,874
II 固 定 資 産				
(1) 有形固定資産				
建物及び構築物		19,201	19,718	19,423
減価償却累計額		△ 12,218	△ 12,674	△ 12,340
機械装置及び器具備品		2,146	2,291	2,186
減価償却累計額		△ 1,574	△ 1,664	△ 1,607
車両		11,172	11,815	11,588
減価償却累計額		△ 9,816	△ 10,338	△ 9,936
土地		12,456	12,456	12,456
建設仮勘定		27	19	8
有形固定資産合計		21,395	21,624	21,779
(2) 無形固定資産		154	133	140
(3) 投資その他の資産				
投資有価証券		2,687	3,335	3,071
その他		1,189	1,292	1,192
貸倒引当金		△ 11	△ 42	△ 38
投資その他の資産合計		3,865	4,585	4,225
固定資産合計		25,415	26,343	26,144
資産合計		35,632	38,060	37,019

(単位百万円)

科 目	期 別	前第3四半期 連結会計期間末 (平成16年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (平成17年12月31日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成17年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
(負債の部)				
I 流 動 負 債				
支払手形及び買掛金		1,148	1,146	1,163
短期借入金		935	1,585	715
1年内返済予定の長期借入金		793	802	1,169
未払金		1,829	2,173	2,060
未払法人税等		300	120	771
賞与引当金		572	445	692
その他の		1,459	1,594	1,331
流動負債合計		7,039	7,867	7,903
II 固 定 負 債				
長期借入金		2,974	3,038	2,986
退職給付引当金		346	314	349
役員退職慰労引当金		223	254	238
受入保証金等		2,930	2,647	2,656
その他の		520	711	593
固定負債合計		6,996	6,966	6,824
負債合計		14,035	14,834	14,728
(少数株主持分)				
少数株主持分		104	112	105
(資本の部)				
I 資 本 金		2,420	2,420	2,420
II 資 本 剰 余 金		1,529	1,529	1,529
III 利 益 剰 余 金		16,930	18,227	17,486
IV その他有価証券評価差額金		781	1,116	923
V 自 己 株 式		△ 168	△ 180	△ 174
資 本 合 計		21,492	23,113	22,185
負債、少数株主持分及び資本合計		35,632	38,060	37,019

2. 四半期連結損益計算書

(単位百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間		当第3四半期 連結会計期間		前連結会計年度の 要約連結損益計算書	
	〔自平成16年4月1日 至平成16年12月31日〕		〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕		〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕	
期 別	金 額		金 額		金 額	
I 売 上 高						
自動車運送事業収益	12,925		13,531		16,858	
売 上 高	14,764	27,690	14,892	28,424	19,630	36,489
II 売 上 原 価						
運 送 費	9,953		10,609		13,321	
売 上 原 価	10,465	20,418	10,260	20,869	13,779	27,101
売 上 総 利 益		7,272		7,554		9,388
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		5,560		6,108		7,445
営 業 利 益		1,711		1,445		1,943
IV 営 業 外 収 益						
受取利息及び受取配当金	27		39		30	
持分法による投資利益	—		1		10	
そ の 他	78	105	68	109	129	171
V 営 業 外 費 用						
支 払 利 息	47		43		58	
持分法による投資損失	11		—		—	
そ の 他	55	114	44	88	93	151
経 常 利 益		1,702		1,466		1,962
VI 特 別 利 益						
固定資産売却益	11		9		16	
投資有価証券売却益	178		—		178	
補 助 金	4	194	4	13	884	1,079
VII 特 別 損 失						
固定資産圧縮損	—		—		83	
減 損 損 失	131		—		131	
ゴルフ会員権評価損	—	131	—	—	23	237
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,766		1,480		2,804
法 人 税 等		719		557		1,200
少 数 株 主 利 益		2		2		3
四 半 期 (当 期) 純 利 益		1,045		921		1,600

3. セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間 (自平成16年4月1日至平成16年12月31日)

(単位百万円)

	自動車 運送事業	車両物販・ 整備業	業務受託・ 介護事業	不動産業	レジャー サービス業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,925	3,620	1,118	1,579	7,872	573	27,690	—	27,690
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	92	1,091	47	188	163	290	1,873	(1,873)	—
計	13,018	4,712	1,165	1,767	8,035	863	29,563	(1,873)	27,690
営業費用	12,643	4,508	1,073	902	7,927	803	27,859	(1,881)	25,978
営業利益	374	203	92	864	108	59	1,703	7	1,711

当第3四半期連結会計期間 (自平成17年4月1日至平成17年12月31日)

(単位百万円)

	自動車 運送事業	車両物販・ 整備業	業務受託・ 介護事業	不動産業	レジャー サービス業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,531	3,542	1,257	1,317	8,200	574	28,424	—	28,424
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	88	1,133	46	190	177	317	1,953	(1,953)	—
計	13,620	4,675	1,303	1,508	8,378	891	30,377	(1,953)	28,424
営業費用	13,382	4,542	1,177	658	8,338	835	28,935	(1,956)	26,978
営業利益	237	133	125	849	40	55	1,442	3	1,445

前連結会計年度 (自平成16年4月1日至平成17年3月31日)

(単位百万円)

	自動車 運送事業	車両物販・ 整備業	業務受託・ 介護事業	不動産業	レジャー サービス業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,858	4,929	1,496	2,002	10,471	731	36,489	—	36,489
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	123	1,431	59	250	212	381	2,458	(2,458)	—
計	16,982	6,360	1,555	2,252	10,683	1,112	38,948	(2,458)	36,489
営業費用	16,897	6,070	1,420	1,094	10,489	1,044	37,018	(2,472)	34,546
営業利益	84	289	135	1,157	193	68	1,929	13	1,943

(注) 1. 事業区分は、機能別かつ内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- | | | |
|---------------|-------|---------------------------------------|
| (1) 自動車運送事業 | ----- | 一般乗合・貸切・乗用・特定旅客運送、郵便物の運送 |
| (2) 車両物販・整備業 | ----- | 自動車部品・タイヤの販売、自動車の修理、保険代理 |
| (3) 業務受託・介護事業 | ----- | 自動車の運転・保守管理、介護、経営受託 |
| (4) 不動産業 | ----- | 土地造成、建物の建築、土地・建物の売買、賃貸、仲介及び管理 |
| (5) レジャーサービス業 | ----- | 高速道路売店等における物販を含む飲食業、遊技場、旅行業、レンタル業、索道業 |
| (6) その他事業 | ----- | 食料品・雑貨・化粧品等の物品販売、広告代理、清掃・警備 |

2. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度において、本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度において、海外売上高がないため該当事項はありません。